

第 6 章	地下水.....	6-1
6.1	聞き取り調査・既存資料調査.....	6-1
6.1.1	調査概要.....	6-1
6.1.2	調査結果.....	6-3

第6章 地下水

6.1 聞き取り調査・既存資料調査

6.1.1 調査概要

(1) 調査背景

第 15 回協議会における指摘事項

■地下水位の経年変化について

減水前と比べると地下水位は下がっている。以前は水位が高く、ひしゃくで水が汲めるほどだったが、2本目の水路トンネルが通った後から、水位が下がってきた。冬場だけではなく夏場の水位も下がっている。

指摘に対する追加検討の内容

■地下水位の経年変化について

過去の地下水位について、聞き取り調査、文献調査を行った。

(2) 調査方法

(i) 聞き取り調査

信濃川中流域周辺において、過去の信濃川の状況を良く知っていると考えられる方を対象に、聞き取り調査を行った。調査対象地区及び対象人数を表 6-1 に示す。

表 6-1 聞き取り調査対象地域および人数

調査対象地域	聞き取り人数
小千谷地域	6人
旧川西町地域	4人
旧十日町地域	15人
津南町地域	3人
栄村他地域	2人

(ii) 文献調査

信濃川中流域周辺の市町村誌等の文献資料から、地下水に関連する記述を抽出整理した。調査の対象とした文献資料を表 6-2 に示す。

表 6-2 調査対象文献資料

番号	文献名
1	新潟県の100年<交通・産業編>
2	写真集 ふるさとの百年 小千谷・北魚沼・古志
3	十日町小千谷魚沼の歴史
4	信濃川工事局 50年史
5	写真集 ふるさとの百年 十日町・中魚沼
6	十日町市史 資料編1 自然
7	津南百年史
8	昭和26年 長野県統計書
9	長野県史 近代史料編 別巻統計(二)
10	長野県広報
11	栄村のあゆみ
12	栄村の自然
13	信濃川百年史
14	母なる信濃川
15	潮境
16	小千谷市史 上巻
17	中魚沼郡史
18	中魚沼郡要覧第二編
19	十日町・小千谷・魚沼の100年
20	川西町史 通史編 上巻・下巻
21	川西町史 資料編 下巻
22	写真集 明治・大正・昭和 十日町
23	下条地区公民館50周年記念誌
24	下山とその周辺の昔語り
25	十日町市史 通史編4 近現代一
26	十日町市史 資料編6 近現代一
27	十日町市史 資料編7 近現代二
28	十日町市史 資料編8 民族
29	千手発電所発電事業に因る漁業被害調査書
30	中里村史 通史編 上巻・下巻
31	中里村史 資料編 下巻
32	津南町史 通史編 上巻・下巻
33	津南町史 資料編 上巻・下巻
34	津南町史編集資料 第19集 津南郷と電源開発
35	津南百年史
36	津南町教育委員会 貸出資料
37	長野県史 通史編 第七巻 近代一
38	長野県史 通史編 第八巻 近代二
39	飯山市誌 自然環境編
40	飯山市誌 歴史編 下
41	千曲川の今昔
42	定本 千曲川 母なる川 その悠久の歴史と文化
43	須坂・中野・飯山の昭和史
44	信濃川水力発電工事誌

6.1.2 調査結果

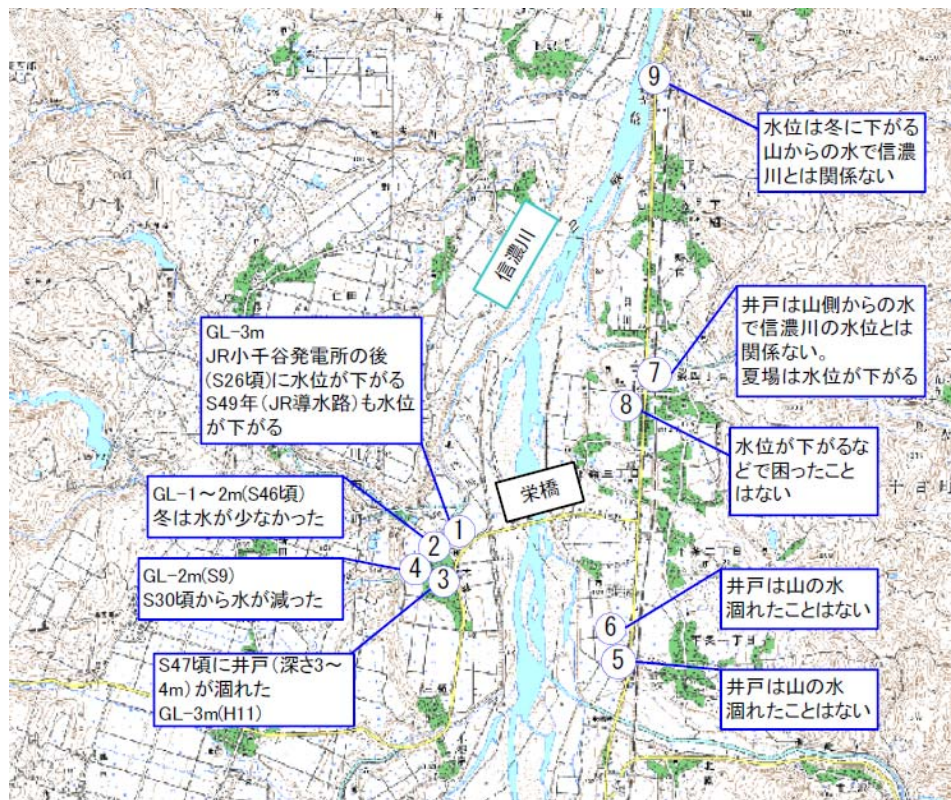
(i) 聞き取り調査

旧川西町地域、旧十日町地域の聞き取り調査結果のうち、地下水に関連する事項を図 6-1 及び図 6-2 に示す。

信濃川左岸の十日町市木落付近の聞き取り結果では、昭和 14 年頃には井戸水の水位が高く、ひしゃくですくえるほどであったが、昭和 26 年～49 年頃に水位の低下、井戸が涸れるなどの現象が発生したという複数の聞き取り結果が得られた。

宮中取水ダム左岸でも、導水路掘削に伴う水位低下があったとの聞き取り結果が得られた。

一方信濃川右岸の地区での聞き取りでは、井戸水は山側からの水であり、信濃川の水位とは関係がないという聞き取り結果が得られた。



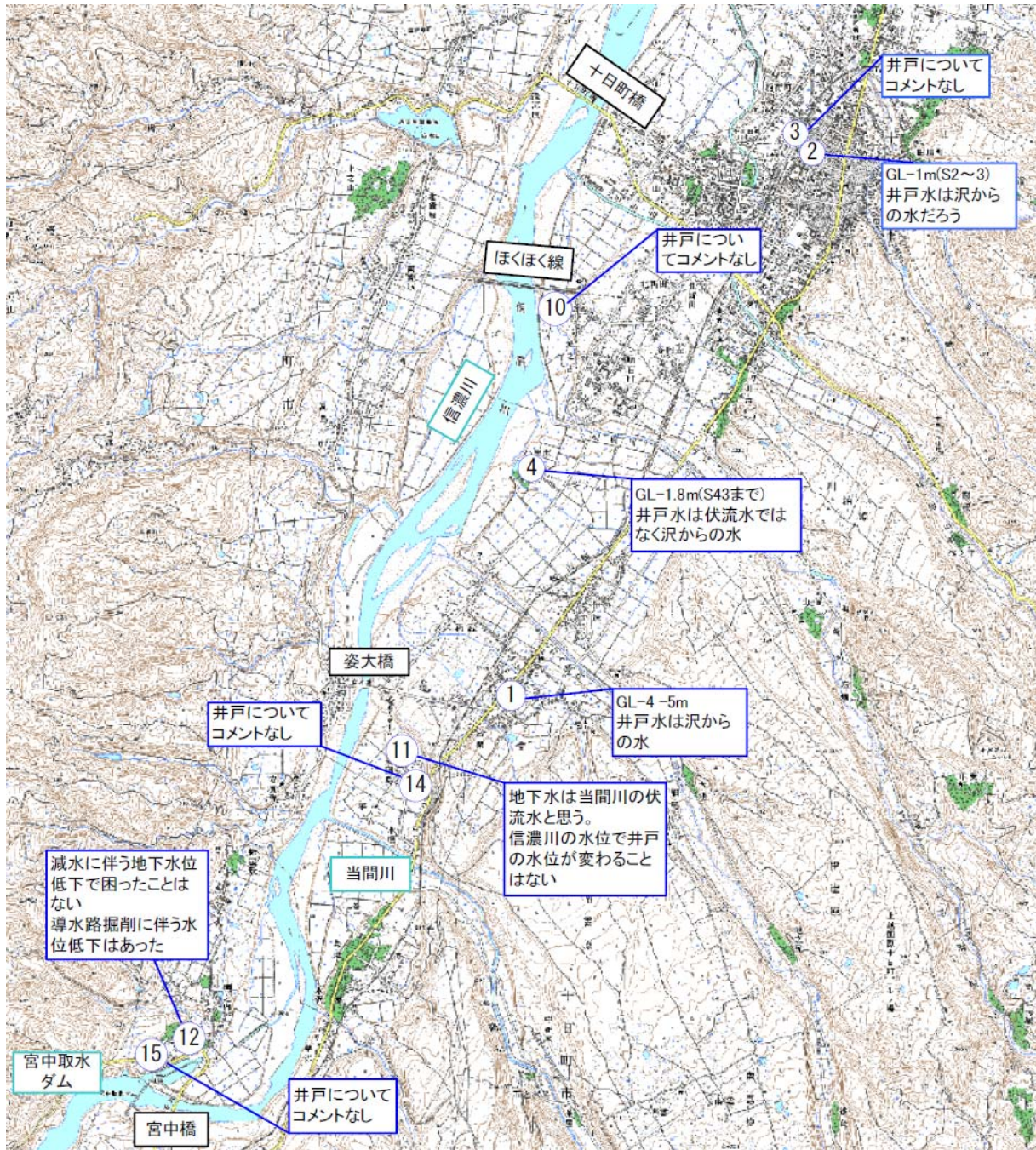


図 6-2 地下水に関する聞き取り調査結果 (2/2)

表 6-3 聞き取り調査結果一覧

番号	実施日	年齢	住所	内容
図 6-1	①	平成 19 年 9 月 20 日	81 十日町市 川西町木落	GL-3m。JR 小千谷発電所の後(S26 頃)に水位が下がる。S49 年(JR 導水路)も水位が下がる。
	②	平成 19 年 9 月 20 日	36 十日町市 川西町木落	GL-1~2m(S46 頃)。冬は水が少なかった。
	③	平成 19 年 9 月 20 日	45 十日町市 川西町木落	S47 頃に井戸(深さ 3~4m)が涸れた。GL-3m(H11)。
	④	平成 19 年 9 月 20 日	72 十日町市 川西町木落	GL-2m(S9)。S30 頃から水が減った。
	⑤	平成 19 年 9 月 27 日	81 十日町市 下条	井戸は山の水。涸れたことはない。
	⑥	平成 19 年 9 月 29 日	55 十日町市 下条	井戸は山の水。涸れたことはない。
	⑦	平成 19 年 9 月 19 日	80 十日町市 下条	井戸は山側からの水で信濃川の水位とは関係ない。夏場は水位が下がる。
	⑧	平成 19 年 9 月 19 日	60 十日町市 下条	水位がさがるなどで困ったことはない。
	⑨	平成 19 年 9 月 25 日	81 十日町市 下条	水位は冬に下がる。山からの水で信濃川とは関係ない。
図 6-2	①	平成 19 年 9 月 19 日	74 十日町市 新宮甲	GL-4~5m。井戸水は沢からの水。
	②	平成 19 年 9 月 19 日	60 十日町市 昭和町	GL-1m(S2~3)。井戸水は沢からの水だろう。
	③	平成 19 年 9 月 19 日	70 十日町市 昭和町	井戸についてコメントなし。
	④	平成 19 年 9 月 20 日	77 十日町市 小黒沢	GL-1.8m(S43 まで)。井戸水は伏流水ではなく沢からの水。
	⑩	平成 19 年 10 月 1 日	63 十日町市 城之古	井戸についてコメントなし。
	⑪	平成 19 年 9 月 14 日	83 十日町市 太田島第二	地下水は当間川の伏流水と思う。信濃川の水位で井戸の水位が変わることはない。
	⑫	平成 19 年 9 月 18 日	63 十日町市 宮中己	減水に伴う地下水位低下で困ったことはない。導水路掘削に伴う水位低下はあった。
	⑭	平成 19 年 9 月 20 日	92 十日町市 太田島第二	井戸についてコメントなし。
	⑮	平成 19 年 10 月 2 日	68 十日町市 宮中己	井戸についてコメントなし。

(ii) 文献調査

文献調査の結果、旧千手町（現十日町市）において、昭和9年頃から導水路掘削に起因すると考えられる飲料用井戸の枯渇が相次ぎ、昭和15年に水道事業による補償が行われたことが明らかとなった。（川西町史 通史編 下巻）

また、昭和19年から昭和25年の間に、水路隧道の掘削工事進捗に伴い、旧橘村（現十日町市）で12箇所、旧真人村（現小千谷市）で36箇所、旧小千谷町（現小千谷市）で7箇所の井戸が、減水または枯渇し、これに対する補償が行われたことが明らかとなった。（信濃川水力発電工事誌）